

2025 年 4 月 23 日

Honda の中国現地法人である本田技研工業（中国）投資有限公司（本社：北京、総経理：五十嵐 雅行）は、現地時間 2025 年 4 月 23 日 11:00（日本時間：12:00）に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします

2025 年上海モーターショーで 烨シリーズ第 2 弾「広汽 Honda GT・東風 Honda GT」を世界初公開 ～智能化・電動化技術における他社との共同開発内容を発表～

Honda は、中国・上海で開催中の 2025 年上海モーターショー（第 21 回上海国際自動車工業展覧会、プレスデー：4 月 23 日～24 日、トレードデー：4 月 25 日～26 日、一般公開日：4 月 27 日～5 月 2 日）において、中国市場向け EV「烨（yè：イエ）」シリーズの第 2 弾となる「広汽 Honda GT・東風 Honda GT」を世界初公開しました。



東風 Honda GT、広汽 Honda GT

広汽 Honda GT・東風 Honda GT は、烨シリーズのフラッグシップモデルとして新たなドライビングプレジャーの提供を目指しました。デザインにおいては、ロー＆ワイドなシルエットとし、広汽 Honda GT はシームレスで洗練された未来感、東風 Honda GT は見る人に刺激を与えるエモーショナルな未来感という、それぞれのモデルが目指す世界観を表現しています。車内では、運転席と助手席に座る乗員が、それぞれに移動体験を楽しめるような空間づくりをしています。運転席は、ドライバーがレーシングマシンのようなコックピットに身を沈め、操る喜びに没入できる空間としました。また助手席には、大画面を見ているような視聴体験ができる遠焦点ディスプレイを採用し、特別な移動体験の提供を目指しています。

【烨シリーズの進化に向けて】

また、智能化・電動化領域における技術進化が速い中国で、お客様の期待に応える製品をスピーディーにお届けするため、中国の技術を活用した Honda の今後の開発方向性を上海モーターショーで発表しました。

■Momenta（モメンタ）との先進運転支援技術の共同開発

高精度地図を用いず AI を活用し、カーナビで目的地を設定すればシステムが運転・操縦を行う先進運転支援技術に強みを持つ Momenta と先進運転支援技術の共同開発を行い、今後の機種へと展開していきます。Honda が培ってきたクルマづくりの技術と、Momenta の技術を融合させることで、安心・安全な移動の実現を目指します。

■DeepSeek（ディープシーク）の AI 技術活用

車内でのサポートなどを行う AI 技術には DeepSeek を新たに採用し、より快適で楽しい車内空間の実現を目指します。今後、烨シリーズには DeepSeek の AI 技術を全適用し、すでに販売している烨シリーズ第 1 弾の「烨 P7・烨 S7」にも OTA（Over the Air）で対応します。

■寧徳時代新能源科技股份有限公司（以下、CATL）との電動化技術の共同開発

次世代 EV への進化を目指し、バッテリーセルを直接車体にレイアウトした高効率プラットフォームを CATL と共同開発するとともに、リン酸鉄リチウムイオン (LFP) バッテリーを Honda として初採用し、烨シリーズ第 3 弾モデルへ搭載します。

Honda は、「2050 年に Honda が関わる全ての製品と企業活動を通じたカーボンニュートラルの実現」というグローバルの目標を掲げています。その実現に向け、中国においては先進技術を搭載した新製品を迅速にお届けするために、中国のリソースを積極的に活用し、電動化をより加速させていきます。